

## IAUD 第4期国際ユニヴァーサルデザイン研究講座 受講案内



### 国際ユニヴァーサルデザイン研究学院 INTERNATIONAL INSTITUTE for UNIVERSAL DESIGN

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）は、2026年4月より第4期国際ユニヴァーサルデザイン研究講座を開講いたします。

第4期においても、国際展開として日本以外の各国からも受講生を募集します。また、海外のUD専門家が講師陣に加わり、さらに多彩なカリキュラム内容となります。

授業は、AIライブ通訳機能を介して行われますので、外国人講師・受講者との相互コミュニケーションに悩むことはありません。

ユニヴァーサルデザイン（UD）は障害者や高齢者向けのデザインだけを意味するものではありません。UDの領域は拡大進化しており、人権意識や社会の持続可能性を考慮したデザイン経営の実践こそがいまやUDの本質です。

国際ユニヴァーサルデザイン研究講座では、そのような新たなUD思考を身につけるためのリカレント教育、リスキリングのコースを提供します。自己研修や経営幹部養成プログラムの一環として活用いただければ幸いです。

#### 目的と到達目標

この事業の目的は、一旦企業や団体などに就職した社会人が必要なタイミングで再び専門教育を受ける、いわゆるリカレント教育、また最近特に政府が奨励するリスキリングの支援であり、再教育を通してユニヴァーサルデザイン（UD）の本質を理解し、それぞれのビジネスに活用していただくことです。

ユニヴァーサルデザインとは、民族、文化、慣習、宗教、国籍、性別、年齢、能力の違い等にかかわらず、できる限り最大限多くの人に利用可能であるように最初から意図して、機器、建築、空間、システムなどをデザインすることです。IAUDでは、さらに一步踏み込んで、「一人ひとりの人間性を尊重した安全・安心な社会環境づくり」こそが、ユニヴァー

サルデザインの本質であると考えています。

障害者、高齢者向け対応に限らず、人権擁護、人間性の尊重といったユニヴァーサルデザインの根底にある考え方を踏まえた、真に多様性の包摂を実現した共生社会の創造を到達目標とします。

### アドミッションポリシー

ユニヴァーサルデザイン研究講座では、私たちを取り巻く様々な課題を広い視点から捉え、自ら課題を発見し、その解決のために行動する人材の育成を目指します。そして、この目標に基づき、次のような受講生を求めます。

- ・ものづくり、まちづくり、ことづくりが好きで、ユニヴァーサルデザインデザインの知識や技術の修得に関心がある人。
- ・コミュニケーション能力やリーダーシップ能力をさらに高めたいと思っている人。
- ・広く国内、国際社会の出来ごとに関心を持ち、自ら課題の設定と解決を行う熱意があり努力を惜しまない人。

### カリキュラムポリシー

ユニヴァーサルデザインは社会に貢献する生活環境創造行為です。社会の変化やテクノロジーに対応できる基本的能力の修得や国際化に対応できる知識と能力の確立が必要です。一定の表現技能を備え、且つ豊かな人間性を持つ社会性のある UD 専門家を養成します。

- ・前期は導入教育として社会・人間・生活等、幅広い UD 領域の中から問題を取りあげ、UD の意味と役割を理解し、教養を高める講義を修得します。また、演習課題を通して観察・発想・展開・表現の観点から UD の表現技術を習得します。
- ・後期はコミュニケーションデザイン系、インダストリアルデザイン系、環境デザイン系、デザイン経営系のいずれかを選択して研究テーマを設定し、自ら設定した研究課題にもとづいて修了研究を行います。

### ディプロマポリシー

多様な UD 領域の中から受講者の個性や能力に応じた選択肢を準備して基礎と専門のメソッドを習得出来るようにカリキュラムを実施し、次のような到達目標を掲げています。

- ・UD の基礎的な知識と能力を有している。具体的には、UD の概念や社会での展開事例に関する知識、人間的・自然的事柄に関する知識、発想から展開する能力、描く能力、構成する能力、色彩を巧みに使う能力など、研究を通して得られる知識や技術を有している。
- ・選択した UD 領域における基本技術や UD 展開能力を有している。
- ・社会において UD 理念を核とした活動ができる基礎的な能力を有している。

到達目標を達成したと認められる人には、IAUD がディプロマ（修了証書）を授与します。ディプロマ（DipUD）修得に必要な単位は 16（必修：6、選択：10）です。学位論文は不要ですが各科目で求められる試験やレポート提出はクリアしなければなりません。

## カリキュラム

科目名称	授業 方法	必修 単位	選択 単位	備考
ユニヴァーサルデザイン概論	講義	2		共通科目
世界のユニヴァーサルデザイン	講義		2	共通科目
北欧のインクルーシブ社会	講義		2	デザイン経営系
欧州のツーリズムフォーオール	講義		2	共通科目
インドのユニヴァーサルデザイン	講義		2	共通科目
インドのユニヴァーサルファッション	講義		2	デザイン経営系
東南アジアの環境デザイン	講義		2	環境デザイン系
ユニヴァーサルコミュニケーション特論	講義		2	コミュニケーションデザイン系
環境デザイン特論	講義		2	環境デザイン系
ユニヴァーサルデザイン経営特論	講義		2	デザイン経営系
ユニヴァーサルサイネージ特論	講義		2	コミュニケーションデザイン系
モビリティユニヴァーサルデザイン特論	講義		2	インダストリアルデザイン系
建築デザイン特論	講義		2	環境デザイン系
ユニヴァーサルツーリズム特論	講義		2	デザイン経営系
ユニヴァーサルハウジング特論	講義		2	環境デザイン系
ユニヴァーサルタウンプランニング特論	講義		2	環境デザイン系
サステイナブルデザイン特論	講義		2	共通科目
ユニヴァーサルデザイン演習	講義 演習		4	UD検定上級として実施
インクルーシブデザイン演習	講義 演習		2	ワークショップ
サステイナブルデザイン演習	講義 演習		2	ワークショップ
修了研究	演習	4		各受講生がテーマを設定

※ 科目は順次、改定（更新・追加）されます

### 受講条件

次のいずれかを満たしていること

- ・ 大学または短期大学を卒業している人。
- ・ 現在、いずれかの企業や団体に就職しているか、または過去に就職した経験を持つ人。
- ・ IAUD ユニヴァーサルデザイン検定中級に合格している人。

## 修業年限・受講料

修業年限は1年間（前期15週、後期15週の計30週）で、受講料は年間60万円（+消費税）です。ただし、IAUDの会員は会員割引価格48万円（+消費税）、学生は学生割引価格30万円（+消費税）です。

※学生の方は、お申し込みの際に学生証を撮影したデータを添付してご提出ください。

なお、会社・団体・自治体などからの10名以上の一括受講申し込みに関し、受講料40%オフのグループディスカウントを適用いたします。従って、一人当たり60万円（+消費税）の受講料が40%割引の36万円（+消費税）となります。ただし、このグループディスカウントと会員割引、学生割引との併用はできません。

## 受講申込方法

所定の受講申込用紙をダウンロードして必要事項を記入し、「国際ユニヴァーサルデザイン協議会」事務局 IAUD 国際ユニヴァーサルデザイン研究講座担当までメール添付（MS-Word形式推奨）にてお送りください。

受講料のお支払いが遅れる場合は事務局までご連絡ください。

申込にかかる諸費用は応募者でご負担ください。

**第4期受講生申込締め切り 2026年3月31日（火）**

## スケジュール

第4期受講生募集	2026年2月～2026年3月31日（火）
第4期（前期）開始	2026年4月中旬
第4期（前期）終了	2026年7月下旬
第4期（後期）開始	2026年10月上旬
第4期（後期）終了	2027年2月下旬
第4期修了式	2027年2月下旬

## 第4期受講申込書類送付先・お問合せ先

E-Mail : [info@iaud.net](mailto:info@iaud.net)

研究講座の必要な科目を履修し、16単位を修得すれば右図のようなディプロマが授与されます。

